

" グリオⅢ "

小泉明子 piano
平山織絵 cello
宮野弘紀 guitar

2026 05月02日 (土)

開場 12:30 afternoon live

開演 13:00

(2ステージ入替無) (1drink=600~)

MC=3700+2drinks order

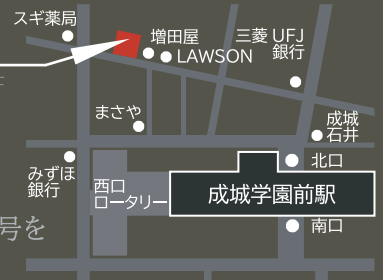
CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



小泉明子

山形県米沢市出身。幼少の頃よりあらゆるジャンルの音楽に興味を持ち、持ち前の感性と独自の奏法でVocalとPianoを表現するようになる。国立音楽大学在学2年目にしてプロ活動を開始。TBS NHK等の音楽番組でレギュラーを務め、美空ひばりの東京ドーム公演にも出演。スタジオワークをする傍ら自己のユニット「SIESTA」を結成。Vocal&Pianoにスキヤットを織り交ぜたスタイルを確立。ジャンルを超えた世界観でライブハウス等で活躍している。2000年にリーダーアルバム「Sapphire」を発表。2002年にはインドで開催されたジャズフェスティバルに唯一の日本代表としてソロで出演し好評を博す。2008年、Violin 平松加奈を迎え、Duoアルバム「Reverie」。2016年、リーダーユニットSIESTAの初アルバム「SIESTA」をリリース。現在、多種多様のユニットを複数率いて、首都圏を中心に精力的に活動中。

平山織絵

4才よりピアノを、15才よりチェロを始める。チェロを藤井晃、木越洋の各氏に師事。洗足学園音楽大学音楽学部音楽学科卒業。卒業後フリーのチェリストとして活動していたが、ジャズトロンボーン奏者の向井滋春氏が率いるジャズ・ストリングス・カルテットのメンバーになったの期に、ジャズへと傾倒。アドリブソロやベースラインを独学で学び、都内ジャズライブハウス等でライブ活動を展開すると共に、数々のアーティスト等のレコーディングやコンサートに参加、作曲や編曲も手掛ける。'08年5月に、リーダーユニット「SJS (スーパー・ジャズ・ストリングス)」の初CD「Footprints」を発売。スイングジャーナル・ゴールドディスク大賞にノミネートされる。'09年ジム・ホール with ストリングスの東京公演ではストリングスリーダーを務める。'12年3月にSJSの2nd CD「S.O.S.」を発売。D23 Expo Japan 2015のオープニングコンサートでは、ストリングスリーダー&編曲を担当。'17年10月にSJSのクリスマスアルバム「CHRISTMAS SONGS」を発売。現在数々のユニットのメンバーとしても活躍すると共に、様々なライブを企画・作編曲&演奏を担当する等、バラエティーに富んだ活動を展開中。

宮野弘紀

東京で生まれ、札幌で育つ。札幌時代は中山英二(b)氏と共に北海道、東北から活動始まる。上京後すぐに「スウィング・ジャーナル」誌の元編集長・児山紀芳氏と故マイルス・ディビスのプロデューサー、テオ・マセロ氏により81年ニューヨークにて、オリジナル曲のアルバム『MANHATTAN SKYLINE』(日本フォノグラム)をレコーディング、メジャーデビューを果たす。(最優秀録音賞受賞)一躍、アコースティック・ギターリストの寵児として注目され、その後もアール・クルーとのduo作品などを経て、'85年に自身がリーダーの「アコースティック・クラブ」を結成。ニューエイジ・ミュージックとして話題となり、「アドリブ誌」でベスト・アルバム賞も受賞。一方で日本テレビのテーマ音楽等の作曲家として、またサポートミュージシャンとしても多くのアーティストと共演してきた。作品としてブラジル移民100周年の2007年、Rio録音でブラジルの名手ルーラ・ガルヴェンとのギターデュオ作品『AGADIO』をリリース。評論家が選ぶ私のベスト盤2007年度の最高作と評価された。続編「アダージェット」2017年リリース既存のパターンを超え、常に日本人としてのGuitarデザインを意識したオリジナリティを追求している。